

【にんげん部門（中学生の部）・優秀賞】

私のお父さん

札幌大谷中学校 3年 万徳 彩音

私のお父さんはシングルファザーです。妹と私とお父さんで暮らし始めてから約6年がたっています。お父さんは、料理が上手で、手が器用なところもあり、何でも出来ちゃう私にとってのスーパースターです。毎日、美味しいご飯を作ってくれたり、スカートを縫ってくれたり、イヤホンや、電子機械を直してくれたり、今この学校に行かせてくれたり、日々の感謝をあまり伝えられることが出来なくこうやって文でしか言えないけれど、私の自慢のお父さんです。私が、中学受験をしたいとお父さんに言った時、私はお金のこともあるからそんな簡単にいいよとは言ってくれるはずがないと思っていましたが、「お金は気にしなくていい、自分が行きたいとこ、したいことをやんなさい、若いうちに自分の夢を叶えなさい。」と言われました。私は今でもそうやって言ってくれたことを忘れられません。中学に入り、お父さんと揉めることも多くなりました。私のだらしなさで怒られたり私生活のことなどで月2回くらい口をきかなかったこともありました。私もお父さんもそれぞれ自分の主張が強くぶつかってしまうことが多く、家に帰りたくない時期もありました。私は涙もろいことから、言い合いになるとすぐ泣が出てきてしまいます。そこが嫌で負けた感じがあるからです。私とお父さんは良いライバル関係とも言えます。お父さんに「口ごたえするなら泣くな。」と言われた記憶が今でも忘れられません。でも、お父さんのおかげで私は強い人間になれました。今は私とお父さんの喧嘩は妹とお父さんになり、妹の言い訳も分かるし、お父さんの言ってることも分かります。私が2人の中立立場となり止めています。こんな毎日破天荒な家族だけれど、この家を支えてくれているお父さんに感謝を改めて伝えたいです。お父さんの娘になれて私は幸せです。自慢の娘になれるよう夢を叶えます。お父さんいつもありがとう